

# 令和 2 年度事業報告書

特定非営利活動法人 東上まちづくりフォーラム

## 1. 事業の成果

はじめに

本年度は新型コロナの感染拡大に伴い、地域にある人的資源の発見、まちづくり提案、住民交流の場づくりなど当法人の活動のベースである人的交流が大きな制約を受け、当初予定していた活動のほとんどは実施できませんでした。

また当初計画にあったオンライン会議/授業支援研修はコロナ禍にあってタイムリーな企画でしたがコロナの感染拡大が急で、オンライン初心者に対する指導は対面形式で行わざるを得ず実施を断念しました。

具体的な活動については従来から手がけている事業のうち、コロナの感染対策をとれるものを実施しました。

定款に定める非営利活動法人活動

### ① 資源の再発見と人材開発の場の提供

会員が職業人として現役時代に培ったスキルや経験を活用し、地域や身近な人の役に立ちたいとする「助っ人隊」プロジェクトにおいては、従来から継続している以下の案件を中心に実施しました。

- ・障害者福祉法人の運営するカフェ&パン販売店「どんなときも」のホームページ制作は、前事業年度から継続して実施しました。
- ・高齢者及び障害者を支援する NPO 法人からの依頼によりパソコン入門研修を継続実施しており、今期も Excel による学校の父兄会管理の教室を計画しましたがコロナ感染拡大に伴い予定していた会場が閉鎖となり中止としました。
- ・創業スクール、求職者支援訓練の講師は本年度はありませんでした。

### ② まちづくり提案とプロジェクト活動

高齢者の暮らしの支援や孤立を防止するための事業として、本年度は以下の活動テーマに取り組みました。

- ・「暮らしの相談窓口」

遺言書の法務局預かり制度が開始され、自筆証書遺言が安価に安全に作成保管できるようになりました。そこで 2 月と 3 月に行政書士（彩相続相談所）と共催で自筆証書遺言作成セミナーを行い、合計 15 名の参加をいただきました。

- ・成年後見人（市民後見人）活動の普及啓蒙

成年後見人制度は発足しましたが、制度を知らない人が多く、制度を知っていても利用しない人が多数存在します。社会福祉協議会及び市役所の活動に市民後見人として協力する形で普及啓蒙活動に努めました。市役所が開催する市民後見人養成講座では「活動中の市民後見人」として参加しています。

- ・スマホ動画による「30秒CM」事業

本事業は、市民映像フォーラムから引き継いだ、地域を紹介するビデオの制作発信活動です。川越の店主達や個人が自分の仕事や活動をスマホで撮影し編集し、更に YouTube に投稿して、社会にアピールする事業です。

今期は「川越まちゼミ」の講座を通じて「スマホで動画編集／YouTube にアップ」を実施しました。また、川越のまちの“映える”魅力を冊子にして紹介する大学生の卒業研究に協力しました。「ARサービス会社」にも協力してもらい、冊子にリンクさせる「ショート動画の製作」を支援しました。AR (Argumented Reality) サービスとは人が知覚する現実環境をコンピュータで拡張するサービスです。今回の例ではチラシにスマホをかざすとチラシの絵が動き始め、チラシを見る人が「まあ！おもしろい！」と感動し関心を高めます。

次年度は、紙のチラシに紹介動画をリンクしたパンフレットをつくり、“生業が創る生活文化”のコンテンツで、地域店舗と住民をつなぐ試みをします。

- ・地域人の「百縁処」(川越市内)

「百縁処」は、地域の空き店舗・空き住宅を活用し、地域の人が気軽に集まり利用できる場所を提供します。各種の講座、会合に利用してもらいます。1人1回100円の利用料です。運営人が面談し了解を得た人が利用出来ます。「生業が生み出す文化が町を賑わす」というキャッチで、商業者と市民の文化活動を結ぶ場です。市販のテレビを使ったデジタルサイネージ「まちコミ掲示板」とYouTubeで、「百縁処」やその他の「文化活動」と市内商業者の生業を通じた「文化商品やサービス」をお知らせしています。

10月から看板や内装はそのままに、帽子作家さんが開店しました。百縁処の文化活動が帽子の制作と販売を応援しています。「百縁処」は2階に移動しました。シニアが「読書会」をしています。これからコロナが落ち着いたら利用者を広げます。

### ③ 住民交流の場づくり

活動の範囲を広げるため、以下の地域団体に参加し連携した活動を模索しました。

- ・志木市NPO協議会への参加

市内NPO団体との協業をめざしましたが、開催されませんでした。

- ・志木市コミュニティ協議会への参加

ふれあい推進委員会に所属し“犯罪に強いまちづくり”を目指し、わんわんパトロール隊を組織し隊員の募集活動を実施しました。また、にぎわい創出委員会での親水公園の整備活動にも参加しました。さらに、広報部会長として広報誌“コミュニティしき”を協議会設立40周年記念号として発行しました。志木市民まつりや視察研修旅行は中止となりました。

- ・志木さくらフェスタ実行委員会への参加

3月30日(土)・31(日)実施、ステージ部会に所属し企画運営を担当しましたが中止となりました。

- ・生活支援体制整備事業への参加

生活支援体制整備で協議した目指す地域像「困りごとを抱えた人が助けてと言える地域」を実現させるため、「志木の夢実現計画(プロジェクト)」の一環として、男性が地域に関われる仕組みづくりおよび居場所づくりを進める、社会福祉協議会が市から受託した事業にコアメンバーとして参加しています。

- ・埼玉県南西部地域の自転車活用による地域づくり事業への参加

埼玉県南西部地域振興センターの主催する事業にツアーにガイドとして協力しました。今回からガイドが引率する形は止めて、推薦コースのマップを発信する形に変わりました。推薦コースを見直したり点検したりの活動をします。

なお定款に規定されているその他の事業(地域産品等の販売、中小企業等のコンサルティング、個人を対象とした教育・出版)は、令和2年度に該当する事業はありませんでした。

## 2. 事業の実施に関する事項（令和2年6月1日～令和3年5月31日）

### （1）特定非営利活動に係わる事業

定款の事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額（千円）
地域資源の再発見と人材開発の場の提供	「助っ人隊」事業	通年	埼玉県全域	5人	社会福祉法人、NPO法人、地域企業（2法人）	60
まちづくり提案とプロジェクト活動	暮らしの相談窓口	通年	志木市、朝霞市、川越市	5人	対象者120名	
	成年後見人（市民後見人）活動の普及啓蒙	通年	志木市、朝霞市、川越市	2人	対象者50名	
	スマホ動画による「30秒CM」事業	通年	川越市	2人	-	
	「百縁処」事業	通年	川越市	2人	-	
	ハートプロジェクト（障がい者・高齢者IT支援）	通年	埼玉県全域（出張研修可能）	5人	NPO法人、個人	
住民交流の場づくり	他団体との連携	通年	県南西部地域、川越市	3人	約50人	-
上記事項に関する情報提供事業	ホームページ、活動案内チラシ	通年	東上まちづくりフォーラム事務局	2人	約100人	-
その他目的を達成するために必要な事業	必要に応じて実施	通年	東上まちづくりフォーラム事務局	-	-	-

### （2）その他の事業

事業名	事業内容	実施日	実施予定場所	従事者の予定人数	支出額（千円）
地域物品等の販売	地域商品の販売	-	-	-	-
中小企業、非営利活動法人の経営支援	コンサル、営業支援	-	-	-	-
個人を対象とした教育、出版	IT関連資格取得講座	-	-	-	-